



レポート

1

千葉県船橋市立夏見台小学校
城ヶ崎 滋雄 先生

ひまわり先生 「驚きの3つの効果」!



**通知表への
転記ミスがなくなる!**

成績処理は今までも「ひまわり先生」を使っていましたが、通知表は「ひまわり先生」の集計資料を見ながら、学校の通知表ソフトに転記（入力）していました。

この作業でいちばん気を遣ったのは転記ミスです。集計資料には、「A」とあるのですが、うっかりと「B」と打ち間違えてしまうことがありました。

また、他の子どもの資料と混同しないように定規を当てながら転記するのですが、順番を前後して情報を入力してしまうことがありました。



この機能を使うことで、入力したテストの得点、評価を通知表の評価に貼り付けることができる。

記入後、念には念を入れて復唱しながら資料と通知表を照合します。やっぱり転記ミスがあります。

通知表を渡した後もその不安は消えませんでした。

ところが、今年度は「ひまわり先生」の「通知表」を採用することになり、その不安がなくなりました。ワークテストや自作テストなどの成績を入力すると「A・B・C」の評価が自動的に反映されるからです。これで転記ミスの心配から解放されました。



**「通知表ソフト」が、
「メモ帳」がわりに!**

所見も楽になりました。例えば、**係名の記入**では手帳にメモしていたものを転記していました。それが今では係決め



係名の記入
メモ機能

をした時に、「○○君は何係になったの?」と聞き、「ひまわり先生」に入力します。

また、子どもの良かったことをメモがわりに「ひまわり先生」へ入力し、後日、文章化します。

いつの間にか通知表の資料が「ひまわり先生」に蓄積されている状態です。



換算機能が素晴らしい!

私は、作文の評価を10点満点にしています。体育の評価は3点満点です。その点数を「ひまわり先生」に入力すると100点満点に換算されます。数字を入力するだけでどんな評価項目でも100点満点として換算して評価され、「A」は90点以上、「B」は65点以上が表示されます。これも便利です。



作文を10点満点に調整しています。

※ 通知表: 「通知票」、「通信簿」、「あゆみ」等、各学校により呼称やタイトルは様々です。



レポート

2

神奈川県平塚市立勝原小学校
八嶋 雅彦 先生

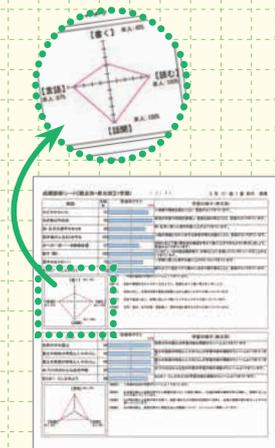
通知表を学校の様式に カスタマイズ!



成績処理ソフトとしての
「二つの魅力」

長年にわたって、「ひまわり先生」を学校の成績処理ソフトとして活用させていただきました。「ひまわり先生」には、大きく二つのメリットがあります。まず一つは、テストやプリントの成績を観点別に処理し、一人ひとりの能力をグラフなどで表示し、個別面談で保護者向けの資料として活用できたことです。

さらにもう一つは、通知表作成の時期になると評価を出す一助となつたことです。



しかし、平塚市の全職員にノートパソコンが支給され、同時に市内の通知表書式が統一されると、今までのように自由にソフトを活用できなくなり、また全国的に通知表の誤記入問題などもあり、個人のパソコン使用はさらに厳しくなっていきました。市内の各校は成績処理の能率化



通知表を作成でき、さらに、
学校の様式にカスタマイズ

と事故防止のため、エクセルで通知表処理を行っていましたが、個々に作成したソフトでは完璧な処理はできず、苦慮していました。

我が校は、こういった中で県内他市で採用されていた「ひまわり先生」の通知表作成機能の説明を受け、今の現場の成績処理ソフトに「ひまわり先生」がふさわしいと考え、活用することとしました。

このソフトは、我が校の様式にあわせた通知表を作成し、じかに成績処理結果を入力し、◎○△の評価として表示される画期的なソフトでした。



評価に使用する記号や文字の大きさなどを設定できます。



毎年、バージョンアップ
していく「ひまわり先生」

先生方には、所見欄の字数や文字のサイズ、各教科の観点項目をチェックしていただき、管理職が市の通知表見本に基づいてレイアウトを作りました。

その後、校長や担当とチェック体制や誤記入の問題について話し合い、そこで生まれた要望をソフトの新機能に加えていただきました。こうして通知表ソフトの信頼性を確認し、機能的に使用することで、問題なく通知表を発行することができました。

今年になって、さらに所見欄の文字のサイズ（ポイント）が変更できるようにになりました。

文字サイズを自動的に調整してパ
ランスよく枠内に収める機能が秀逸
です。

